



日本国内専用
Use only in Japan

本製品は日本国内専用となります。
海外でのご使用はおやめください。
保証いたしかねます。

IMZ

LIMITBREAKER TW HD-C/TW 200-C

取扱説明書

—— フィッシングシーンに、新しい価値を ——

この度は、IM Z LIMITBREAKER TW HD-C/IM Z TW 200-C シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品は、HYPERDRIVE DESIGN、TWS、ATD を搭載する次世代ベイトキャストリールです。さらに、無線通信対応リール（末尾に“C”が記載された製品）とスマートフォン（DAIWAアプリ）を連動させるテクノロジー、DAIWAコネクティングシステムを搭載しています。「コネクティング」の発想が、フィッシングシーンに新たな価値をもたらし、釣りの楽しみ方が広がります。バスだけでなくソルトまで快適なルアーフィッシングを楽しんでいただけます。このリールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書および簡易取扱説明書、製品特性上の注意をよくお読みください。また、リール同様にこの説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。

DAIWA CONNECTING-SYSTEM

無線通信対応リールとスマートフォンを連動させるDAIWAコネクティングシステム。DAIWAアプリに製品登録を行うことで、機能・登録名設定/糸入力/釣行ログデータ閲覧/ソフトウェア更新が可能となります。

詳しくはDAIWA公式アプリへ

■ダイワアプリ

DAIWAアプリが釣りをもっと楽しくする。



DAIWA App



DAIWAアプリのご紹介・操作方法・よくあるご質問など
アプリの情報はQRコードから閲覧できるページでご確認ください。

—— ヘルプガイド・よくある質問について ——

本製品およびDAIWAアプリに関するFAQをご用意しております。

あわせてご参照ください。



目次

安全上のご注意.....	3~8	機能設定の基本操作.....	18~25
お手入れ方法.....	9~11	1. ブレーキ力設定方法.....	18~20
リールのお手入れについて.....	9	ブレーキ力設定を行う前に.....	18
お手入れ方法.....	10	ブレーキ力設定方法.....	18
注油規定.....	11	ブレーキモード設定方法.....	19
各部の名称と機能.....	12~15	PEラインキャストのコツについて.....	20
各部の名称.....	12	2. 初期化および強制再起動.....	21
コントロールスイッチ操作について.....	12	初期化について	
付属品.....	12	強制再起動について	
ドラッグ調整方法.....	13	3. LEDライト点灯状態の主な表示について.....	22
ハイパータフクラッチ.....	13	LEDライト点灯表示	
スプールへのラインの結び方.....	13	LEDライトのカラーと点灯数表示について	
スプールにPEラインを巻きはじめる時		4. ブザー音・状態遷移一覧について.....	23
の結び方.....	13	ブザー音について	
ラインに関するご注意.....	14	電源ON/OFFにおける状態遷移一覧	
巻糸量の目安および注意について.....	14	5. ハンドルアーム交換方法.....	24
糸巻き時の注意.....	14	6. ハンドルノブ交換方法.....	25
スピールの交換方法.....	15	リールの登録・ペアリングについて.....	26,27
はじめに.....	16	ペアリング方法.....	26
ご使用前に		ペアリング後のBluetooth®接続について.....	26
充電方法		再ペアリング.....	27
電源について.....	17	電子保証について.....	28
バッテリー残量について		電子保証について	
電源ONについて		・電子保証に関する保証修理規定	
電源OFFについて		・電子保証について保証対象外となる場合	
		・修理ご依頼時、または製品返却時のお願い	
仕様一覧.....	29	仕様一覧.....	29
製品仕様		製品仕様	
無線通信仕様		無線通信仕様	
故障かな?困ったときは.....	30,31		

安全上のご注意

本製品のご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。取扱説明書および付属の簡易取扱説明書、製品特性上の注意を読まずにご使用されての保証はできません。また、リール同様この取扱説明書および付属の簡易取扱説明書、製品特性上の注意も大切に保管していただき、必要な場合にお読みいただきますよう、お願い申し上げます。

■リチウムバッテリーについて

危険

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重症・障害に至る切迫した危険がある内容のご注意。

本機はリチウムバッテリーを内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

リチウムバッテリーが発熱、破裂、発火、液漏れをし、火災や怪我の原因となります。

■使用環境の制限および使用条件の制限

警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

- 本製品を火の中に入れてたり、電子レンジやオーブン、電磁調理器で加熱しないでください。また、炎天下の自動車内、直射日光の強いところ、ストーブの前面、火のそばなど高温になる場所で充電、使用、放置しないでください。液漏れ、発火、破裂のおそれがあります。
- 充電は必ず専用充電ケーブルを使用し、指定の充電条件を守ってください。指定条件を守らないと、液もれ、発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 本機を水や海水に、漬けないでください。発熱や故障、端子を腐食させるおそれがあります。
- 本機を水や海中に落とした場合は絶対に充電・使用しないでください。水圧により内部に水や海水が入ると短絡し、発熱します。またその状態で充電すると発火・破裂の可能性が非常に高くなります。

注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示していません。

- 外部にひび割れなどの損傷があった場合は、直ちに使用を中止してください。液もれ、発熱、発火のおそれがあります。
- 本機の使用温度範囲は、以下のとおりです。放電(使用時):0~40℃■充電:15~30℃■保管:0~20℃この温度範囲以外では、バッテリーの性能や寿命を低下させたり、バッテリーの破損や変形の原因になることがあります。高温の場合、液もれ、火災、破裂のおそれがあります。

安全上のご注意

■使用前の準備に関する事項

注 意

- 本機を使用する前に、必ず取扱説明書または注意書きをよく読んでください。なお、取扱説明書または注意書きが分かりにくい場合は発売元までお問い合わせください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要な時は再度ご確認ください。
- バッテリーは、エネルギーを持っています。取扱説明書または注意書きを読まずに使用すると、バッテリーの液もれ、火災、爆発などが発生して、人身を損傷させるおそれがあります。
- 本機をお買上げ後、初めて使用する場合にバッテリーの端子部分に腐食や、発熱、その他の異常がある時は、使用しないでください。異常のあるままバッテリーを使用すると液もれ、火災、爆発のおそれがあります。
- 充電中に著しい発熱がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- バッテリーの充電は目が届く所で行ってください。フローリング上での充電は避けてください。熱でフローリングが変色する場合があります。

■使用方法に関する事項

警 告

- 本機を分解、改造、破壊しないでください。液もれ、火災、破裂などのおそれがあります。
- 充電時は指定温度範囲を超える場所で充電しないでください。液もれ、火災、破裂のおそれがあります。
- バッテリーが液もれし、液が目に入ると失明、皮膚に付くとやけどの原因となります。すぐに、きれいな水で洗った後、医師の治療を受けてください。
- 本機は、指定された用途以外に使用しないでください。指定された用途以外に使用すると液もれ、火災、破裂などのおそれがあります。
- 本機に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障、液もれ、火災、破裂などのおそれがあります。

注 意

- お子様が本機を使用する場合は、保護者の方が正しい使用法を確実に教えてください。また、使用中においても安全であることをご確認ください。

■保守・点検に関する事項

警 告

- バッテリーには寿命があります。使用時間が短くなった時は、新しいバッテリーとの交換が必要となります。アフターサービス(株)スポーツライフプラネットへ「バッテリー交換」修理としてお預けください。寿命がきたものをそのまま使い続けた場合、バッテリーの短絡などが発生して、液もれ、火災、爆発などの原因となります。
- バッテリーの液もれ、異臭、変形など、これまでと異なる現象に気づいた時は使用しないでください。異常のあるまま使用すると液もれ、火災、破裂のおそれがあります。

注 意

- 取扱説明書に記載している充電時間以上に充電をしないでください。また、充電の際に所定の時間を超えても充電が終了しない場合は、充電をおやめください。所定の時間を超えて充電すると液もれ、火災、破裂のおそれがあります。
- 充電の際に所定の時間を超えても充電が終了しない場合は、バッテリー異常のおそれがあります。ただちに充電をおやめください。所定の時間を超えて充電すると液もれ、火災、破裂のおそれがあります。
- 充電用の接続端子に海水がついた時はすぐにふき取ってください。放置すると接触不良の原因となります。

安全上のご注意

■保管に関する事項

⚠ 注 意

- 本機は、幼児の手の届かないところで保管、充電してください。
- 本機を、炎天下の自動車内、直射日光の強い所、ストーブの前面、火のそばなどの保管温度を超える場所で保管しないでください。液もれ、火災、破裂のおそれがあります。

■廃棄に関する事項

⚠ 注 意

本機に搭載したリチウムバッテリーを廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 本製品には、リチウムバッテリーが搭載されています。一般家庭ごみとして捨てないでください。廃棄されたリチウムバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
- バッテリーには寿命があります。寿命がきたものをそのまま捨てたり、他のゴミと一緒に捨てると火災、破裂のおそれがあります。
- 本製品に搭載されたリチウムバッテリーは、リサイクルできます。リチウムバッテリーの取り外しはお客様が行わず、購入店またはお客様センターにご連絡の上、アフターサービス(株)スポーツライフプラネットへお出してください。

⚠ 万が一、異常がおきたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、外装部などが破損したら



- ・(充電中の場合は) 充電ケーブルを抜いてください。
- ・ただちに使用を停止し、安全な場所にて保管の上、弊社お客様センターへご連絡ください。

安全上のご注意

警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

- 糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて釣りをしないでください。怪我をするおそれがあります。
- 糸が勢よく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- 幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。
- 超薄肉スプールの為、濡れた手でスプールエッジを触る時などは、指を切らないようにご注意ください。
- キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、怪我をするおそれがあります。
- ハンドルとボディの間に指をはさまないように注意してください。指をはさまれて怪我をするおそれがあります。
- 糸が勢よく出ている時は、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。やけどや、指をはさんで怪我の原因になるおそれがあります。
- お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはさまれないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。
- 本製品を使用されますと電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が本製品を使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用はおやめください。
- 本製品を水の様な導電体に浸さないでください。バッテリーがショートし破損・火災・やけどを負うおそれがあります。
- リール・コード・バッテリーを可燃物・引火性物質（液体・ガス・粉塵）に近づけないでください。発火や爆発の原因になります。
- リールはリールシートにしっかり固定してご使用ください。ガタ付きがある場合や固定できない場合は、ご使用を控えてください。釣行中に外れたりすると、怪我を負うおそれがあります。
- 接続端子と充電コードの接続時には濡れた手で接続しないでください。感電するおそれがあります。
- 釣り場等で充電をするときには、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火のおそれがあります。
- 本製品には、リチウムバッテリーが搭載されています。一般家庭ごみとして捨てないでください。廃棄されたリチウムバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
- 分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。また製品保証の対象外となります。
- 強い衝撃や重圧が加わらないようにご注意ください。落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。（外観上には異常が見られなくても故障していることがあります）また落下により、怪我をするおそれがあります。

注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、怪我や物的損害を負う可能性が想定される内容のご注意。

- 根掛かりした場合は、無理に竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。竿をあおると、竿折れの原因になります。（その際は、手袋やタオルで手を保護してください。）
- リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をするおそれがあります。
- ドラッグを長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなり、やけどをするおそれがあります。
- ドラッグ付きリールで遠投する際には、ドラッグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラッグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- リールを長時間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通気性のよい場所に保管してください。
- ドラッグ付きリールは、釣行後にドラッグを緩めて保管してください。ドラッグをキツく締めたまま保管すると、ドラッグワッシャーが濡れ、ドラッグ性能が低下する事があります。
- 本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
- 使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻き糸量、糸巻き状態に差異が生じることがあります。
- 落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。
- クラッチを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。（ラインがロックした状態等で、クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチ及びストッパー、ギア等の破損につながります。）
- シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手についたまま本機を扱うこともおやめください。
- 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせて頂く場合がございますのであらかじめご了承ください。
- リールを落としたり衝撃を与えたりすると、本体にヒビや割れ等が発生し、水が浸入することがあります。その状態で使用すると、制御不能等で怪我等に繋がるおそれがありますのでご使用はおやめいただき、(株)スポーツライフプラネットへ修理にお出してください。
- 本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- 製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 磁石等磁力のある物は近づけないでください。誤作動や故障の原因になります。
- 塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥がれた場合は、その部分に触れないでください。怪我をするおそれがあります。
- 本機のバッテリーキャップは、必ず閉めた状態でご使用ください。水や海水が入り、故障の原因となるおそれがあります。

安全上のご注意

取扱上のご注意

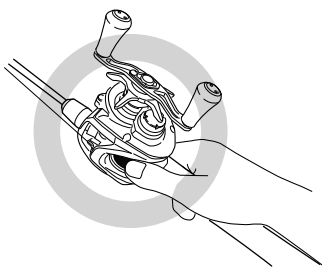
本製品の取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

- リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。
 - 発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。
 - 濡れたままビニール袋やバケツなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。
 - 海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐食するおそれがあります。
水道水を巻糸部にあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。
 - 水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。
保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損するおそれがあります。
 - 落下などのショックを与える事で異音の発生や、スプールのフリー性能が変わることがあります。お取り扱いには充分にご注意ください。
 - 保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所にて保管してください。
濡れたまま湿度の高い状態で密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。
 - スプール本体のインダクトローター部端面には触れないでください。性能が発揮されなくなるおそれがあります。
 - スプール本体のインダクトローター端面の黒色は、消さないでください。回転検知の機能に関わるものであり、製造上のマーキングではありません。また、スプール取り外しの際にも黒色部には触れずに慎重に取り扱ってください。
-
- 本製品は日本国内専用です。海外での使用は動作保証、スマホアプリ連動および修理受付の対象外となります。
 - **Bluetooth**® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。グローバルライド株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

●キャスト時の注意 (※図は右ハンドルモデルです。)

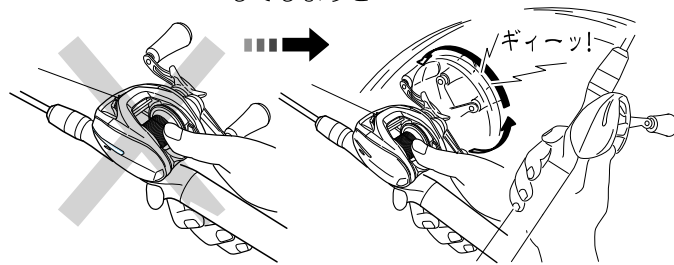
〈正しい握り方〉

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。



〈誤った握り方〉

ハンドルを横向きにしてしまうと・・・



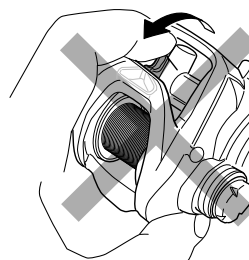
注意

- ※キャストの衝撃でハンドルが回転し、クラッチが返ってしまいます。車でいえば、クラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪の場合ギアの破損のおそれもあります。絶対にお避けください。
- ※また、キャスト中にクラッチを戻さないでください。ルアーが着水してから戻さないと、ギアやボールベアリング等の破損につながるおそれがあります。
- ※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い(大きい)ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

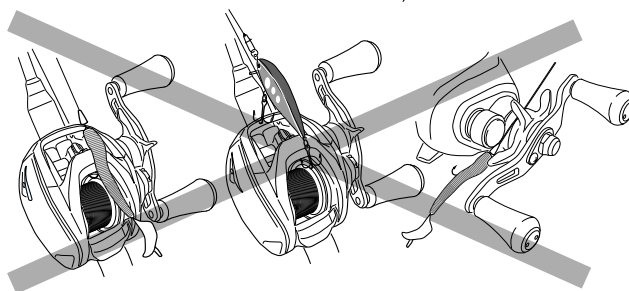
安全上のご注意

●取扱い・保管上の注意

- ・リールを長期間（数ヶ月以上）お使いにならない時は、リール作動部を時々動かす事をお勧め致します。
- ・ラインガイドを手で無理に作動させないでください。破損のおそれがあります。
- ・海水の中に長時間放置をしないでください。
- ・釣り餌が付着した状態で長時間放置をしないでください。

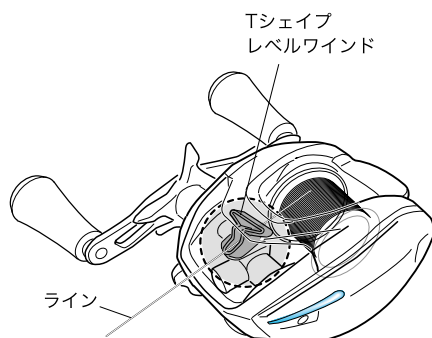


- ・ルアーやワームをリールに引っ掛けるのはお止めください。リールを傷つけたり、ラインが傷ついたり、ワームの成分によってリールの塗装が侵されることがあります。

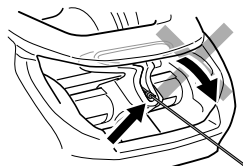


- ・Tシェイプレベルワインドの狭い部分からラインが外れると、スプールにラインをきれいに巻くことができません。

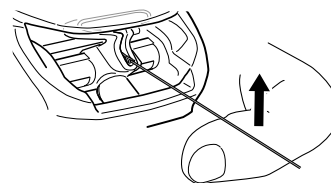
※スプールに糸を巻く時、バックラッシュをほどく時は、必ずラインが狭い部分を通して行なってください。



- ・Tシェイプレベルワインドの狭い部分にリーダー結節部が挟まった場合は、指で外してください。※そのままクラッチを切ると、破損のおそれがあります。

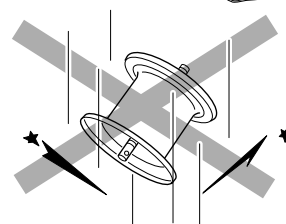


- ・リーダー結節部がレベルワインドを通過しにくい場合があります。結節部はロッドのガイドより外側に出すことをおすすめ致します。



- ・スプールは、落下などのショックで変形してしまうと、スプール性能が発揮されなくなります。お取扱いには十分ご注意ください。

- ・根掛かりした時に、スプールを指で押さえてラインを切る事はおやめください。スプール変形の原因になります。必ず手でラインを持って根掛かりを外すようにしてください。



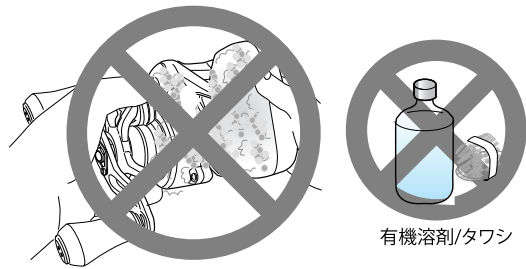
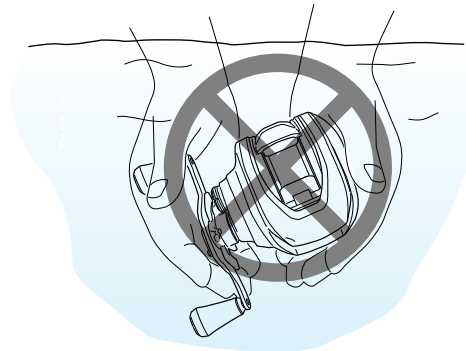
お手入れ方法

●リールのお手入れについて

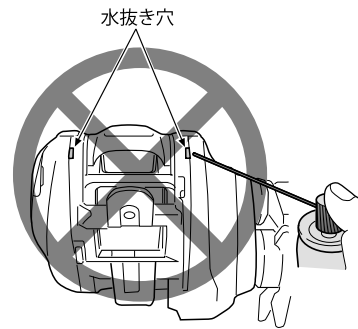
- ・海水で洗ったり、水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ※メンテナンスの際、水没洗浄/分解洗浄などは絶対に行わないでください。電子保証対象外となります。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。
- ・注油したオイルがはね返り噴き出す可能性もあるので、のぞき込まないでください。
- ・水抜き穴への注油は、絶対にしないでください。
- ・本体に磁力を近づけないでください。
- ・電装部(パーミング側サイドプレートユニット内部)を分解しての注油や、化学薬品類等の有機溶剤を用いた洗浄はしないでください。電装部の故障につながります。
- ・注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。
- ・ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。
- ・市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリングや内部機構部品等の耐久性を損なうおそれがありますのでおやめください。
- ・パーミング側サイドプレートユニットは、基本的には外側から水洗いを行ってください。内側は、汚れや残留塩分がある場合がありますので、その際は弱めの水流で軽く洗い流し、汚れを除去してください。

⚠
注意

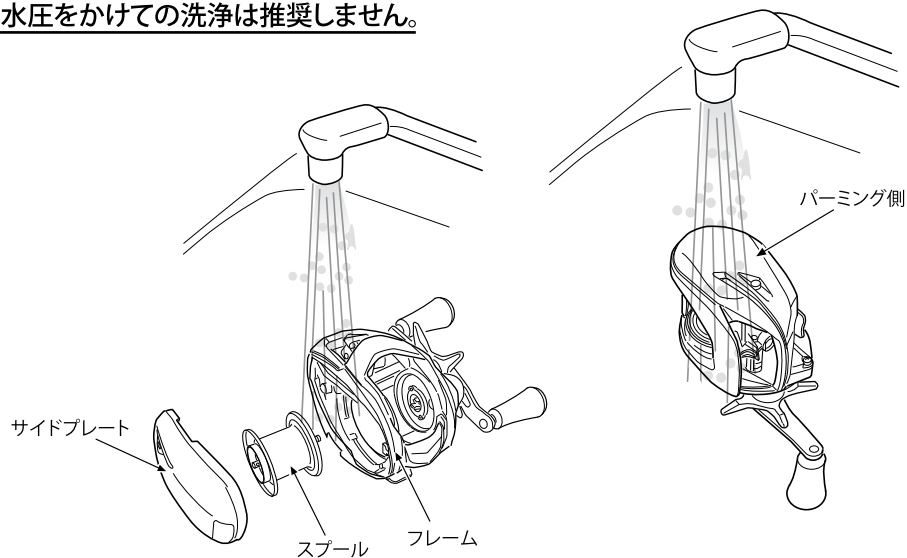
※強い水圧をかけての洗浄は推奨しません。



有機溶剤/タワシ



水抜き穴



お手入れ方法

●お手入れ方法

- 本製品は、精密部品で構成されています。下記の注意事項を守ってお取り扱いください。
- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止する為にも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。
- 本製品を末永くお使い頂くためにも、年に1度は(株)スポーツライフプラネットへオーバーホールに出すことをお勧めします。(有料)

- 推奨オイル：ダイワ純正リールガードオイル ※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリング・グリス等の耐久性を損なう恐れがあります
- 推奨グリス：ダイワ純正リールガードグリス で、絶対におやめください。

<順序>

1.使用後は、なるべく早く水洗いしてください。摺動部や回転部に残った塩分や汚れを洗い流すためです。

※特に海水域で使用したまま乾燥すると塩が結晶化してしまい、水洗いの効果が低下します。

・ドラッグを締め込んでからサイドプレートを外し、サイドプレート、スプール、本体の3パーツに分け、シャワー等の真水で最低3分程度かけて、スプールと本体を水洗いしてください。

・スプール、本体いずれも、様々な角度から水を掛け流してください。内部に残った海水や塩の結晶を溶かして洗い流すイメージです。パーミング側サイドプレートユニットは、**基本的には外側から水洗いを行ってください。**また外側・内側共に真水にて汚れや残留塩を洗い流してください。その際、サイドプレートユニットに直接強い水圧をかけて洗わないでください。

※強い水圧をかけての洗浄は推奨しません。

・クラッチは、オン⇄オフを繰り返しながらよく水を掛け流してください。ハンドルやハンドルノブも回しながら水を掛け流してください。

※温水による洗浄やリールを水没させての洗浄、洗剤等での洗浄は絶対におやめください。適材適所で使い分けしているオイルやグリスを流出させてしまいます。結果的にボールベアリング、ギアなど重要回転部品の耐久性を損ないますので絶対にお止めください。

・本体のウォームシャフトやレベルwind、ダイヤルが汚れている場合は、綿棒などで汚れを取り除いてください。

2.洗浄後は、よく水を切って乾燥させてください。

・よく水を切るために、ハンドルやクラッチ、スプール等の作動部を動かしながら行うと効果的です。

・海水で使用された後は、スプール外周部やフレーム内部などの水分をタオルなどでふき取ってください。乾いて塩分が結晶化すると、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。

・ドラッグを緩め、水抜き穴を下にして陰干してください。また、直射日光を避けてなるべく通風の良い場所で乾燥させてください。

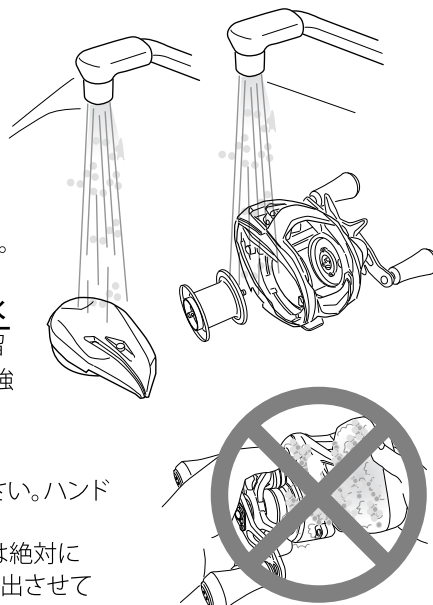
※濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

・内部の水分が完全に乾燥するまでは5日ほどかかります。乾燥中は、出来れば1日1回程度、ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください。

※溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。

3.次項の注油規定に則り、必ず注油してください。

4.保管の際は、ドラッグを緩めてください。



お手入れ方法

●注油規定

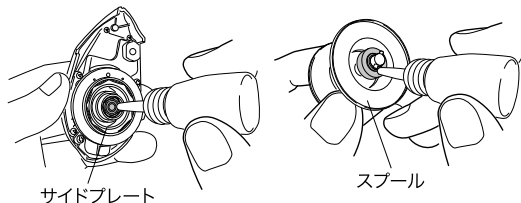
⚠ ※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

【スプールボールベアリングへの注油(オイル)】

1. サイドプレートを取り外し、裏側の中心にあるボールベアリングへ注油します。
2. スプールを取り外し、シャフトに付属しているボールベアリングにも注油します。

※つけすぎは逆にボールベアリングの本来の回転性能を損なうおそれがあります。例えばボールベアリング用オイルの場合、容器を押して、オイルが表面張力でノズルから盛り上がる程度の分量が適正です。スプレーオイルの場合は、一瞬吹き付ける程度で結構です。

※高頻度での注油、また適正量を超えた注油はおやめください。余分なオイルが電装ユニットを傷めてしまうおそれがありますので、過剰分の油分は必ず拭き取ってください。

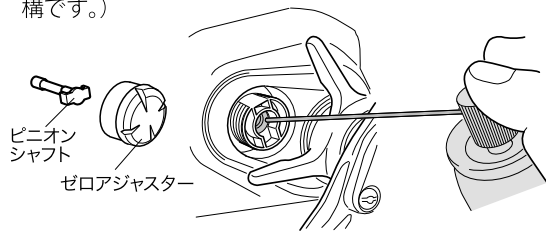


【ピニオンギアへの注油(グリス)】

1. ゼロアジャスターを外し、中のピニオンシャフトをはずした上で、クラッチをOFFにしてピニオン外側面に注油します。(極少量、スプレーグリスの場合は、一瞬吹き付ける程度で結構です)

【ピニオンギアボールベアリングへの注油(グリス)】

1. ゼロアジャスターを外し、中のピニオンシャフト(黒色のシャフト)をはずした上で、内側に見えるボールベアリングに注油します。又、スプールを取り外し、反対側のボールベアリングにも同様に注油します。この際クラッチをOFFにしていただくとうまく行えます。(共に極少量、スプレーグリスの場合は、一瞬吹き付ける程度で結構です。)

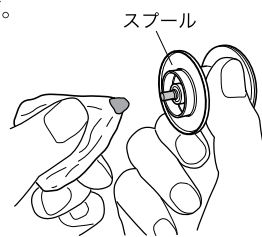


2. ゼロアジャスターの作動が渋くなったなら、内側のリング部に極少量グリスを注油してください。

【スプールシャフトへの注油(グリス)】

1. 取り外したスプールのシャフト両端に、グリスを付けます。図の様に、一度、ビニールなどにグリスを吹き付けておくとうまくいきます。

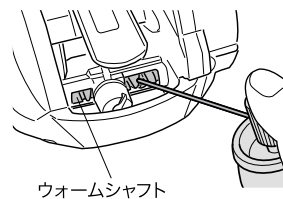
※グリス切れの状態です長時間使うと、上記ピニオンシャフトとの摩擦で焼きつきをおこす事があります。少量を毎回注油される事をおすすめします。



【ウォームシャフト部への注油(グリス)】

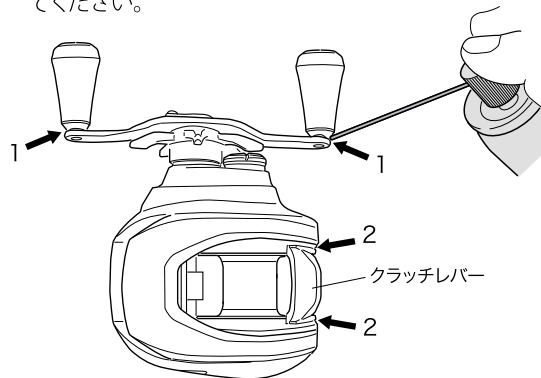
1. 図の様にウォームシャフト部へ注油します。

※長時間で使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてからウエスで拭き取り、その後、グリスを注油してください。

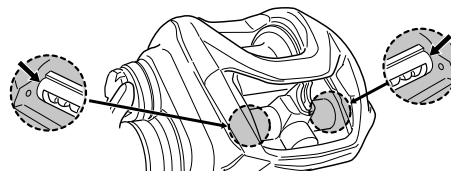


【ハンドルノブ、クラッチ、ラインガイド部への注油(グリス)】

1. 図の様にハンドルノブへ注油します。
※グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性がございます。ご注意ください。
2. 図の様にクラッチレバーと本体との摩擦部にも注油してください。



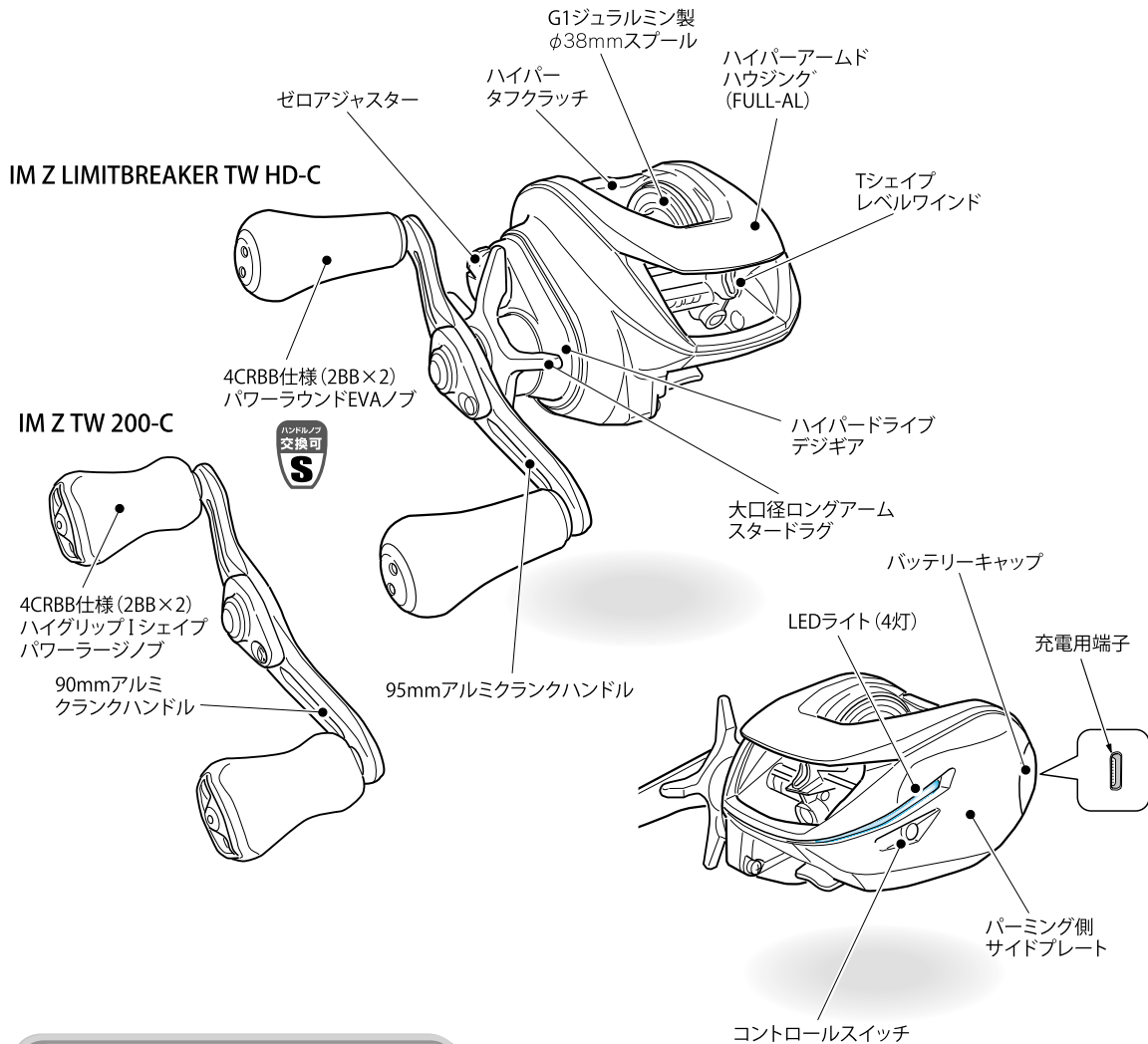
3. ラインガイドの両側の回転部に注油をしてください。



※水抜き穴への注油は絶対におやめください。
※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。

各部の名称と機能

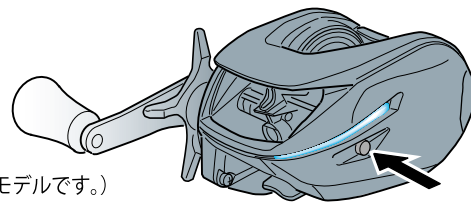
●各部の名称 (※図は右ハンドルモデルです。)



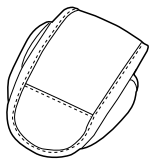
●コントロールスイッチ操作について

コントロールスイッチは、リール本体のパーミング側サイドプレートに搭載したLEDライトの下側に配置されています。短押しまたは長押しにより、各種設定を行います。LEDライトのカラーや通知音によって、変化を捉えます。

(※図は右ハンドルモデルです。)



●付属品



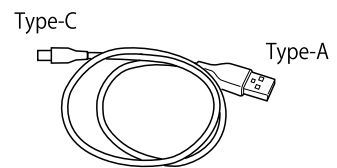
クロロプレン製
リールケース



簡易取扱説明書



製品特性上の注意



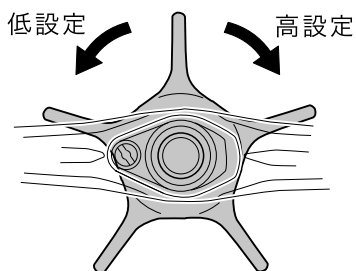
充電ケーブル

各部の名称と機能

(※図は右ハンドルモデルです。)

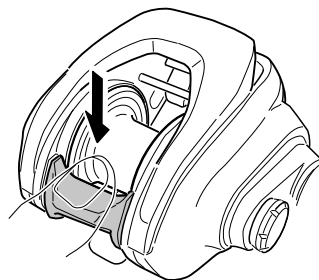
●ドラッグ調整方法

・右ハンドルモデルの場合、時計回りに回せばドラッグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラッグ設定は低くなります。(左ハンドルモデルは逆になります)使用ライン、釣種に合わせて調整を行ってください。

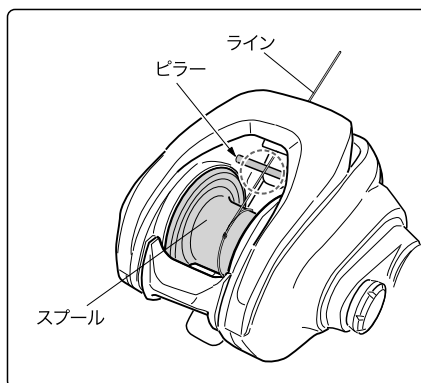


●ハイパータフクラッチ

親指で軽く下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールがフリー状態になります。親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやくキャストできます。



●スプールへのラインの結び方



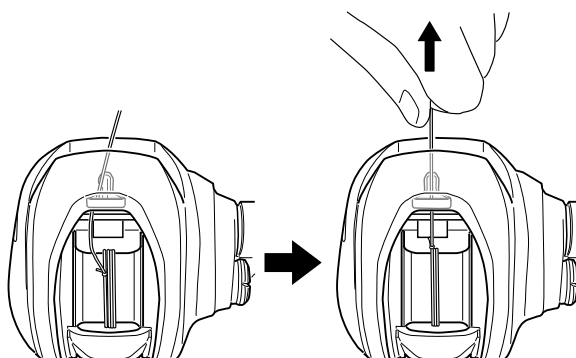
・図のようにスプールに糸を結びつけます。ラインは**ピラーの上**を通してください。

※ピラーの下にラインを通すとTWSの効果が発揮されません。

※テープで固定するのはおやめください。テープで固定するとスピールの回転バランスが崩れ、「ブーン」、「キーン」といった異音が発生します。

●スプールにPEラインを巻きはじめ時の結び方

・PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するトラブルを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認してから、糸巻きを開始してください。



各部の名称と機能

●ラインに関するご注意

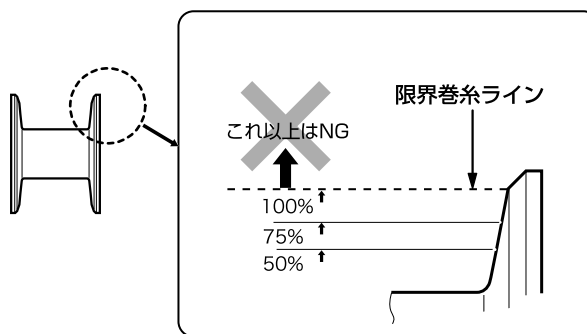
⚠ 注意

以下のリスクにご注意ください。

- ・軽量スプールを採用しているため、必要以上の高いラインテンションで糸巻きをすると、スプール変形のおそれがありますのでご注意ください。
- ・ライン素材問わず、ラインテンションを掛けすぎないようにご注意ください。
- ・PEラインを巻く際は、500 g 程度のラインテンションでの糸巻きをおすすめします。
- ・ナイロンライン、フロロカーボンラインを巻く際は、300 g 程度のラインテンションでの糸巻きをおすすめします。
- ・下巻きにナイロンラインをご使用される場合は、6号以上の太さを使用し、ラインテンションを掛けすぎないようにご注意ください。下巻きナイロンラインを巻く際は、300 g 程度のラインテンションでの糸巻きをおすすめします。
- ・PEライン 1 号以下の細糸を使用する場合、糸巻きの偏りや糸フケ、バックラッシュの発生によりトラブルが発生しやすくなりますのでご注意ください。フレームとスピールのすきまにラインが噛み込む症状や、巻糸面での上糸と下糸のライン同士での食い込み症状などが発生しやすくなります。ラインが噛み込むケースは、ゼロアジャスターの調整ができておらず、糸がフケた状態で発生しますので、ゼロアジャスターを締め、糸フケを抑えてご使用するか、糸が浮かないブレーキセッティングを行って使用することをおすすめします。ラインが食い込むケースは、高負荷時の巻き取り後などに発生しやすくなりますので、そのまま使用を続けるとキャスト時やドラッグ作動時に摩擦による高切れなどのリスクがありますのでご注意ください。必ず直してから次の動作に移ることをおすすめします。
- ・フロントカバーやフレームに糸が当たると、傷つくおそれがあります。糸巻きを行う際は、糸がリール本体に触れないようにご注意ください。

●巻糸量の目安および注意について

限界巻糸ラインを超えないように糸巻きを行ってご使用ください。目安として、図の限界巻糸ラインが上限です。



●糸巻き時の注意

⚠ 注意

※限界巻糸ライン以上に糸巻きを行った場合、段差部分にラインが乗り上げた巻糸状態になるおそれがあります。最悪の場合、フレームとスピールのすきまにラインが噛み込むトラブルが起こりやすくなります。おやめください。また、アプリで設定したライン(糸)設定とズレが生じ、飛距離データ等の誤差が大きくなる可能性があります。

※スプール巻糸部には、ライン(糸)設定をするための目安ライン(50%、75%)を引いています。

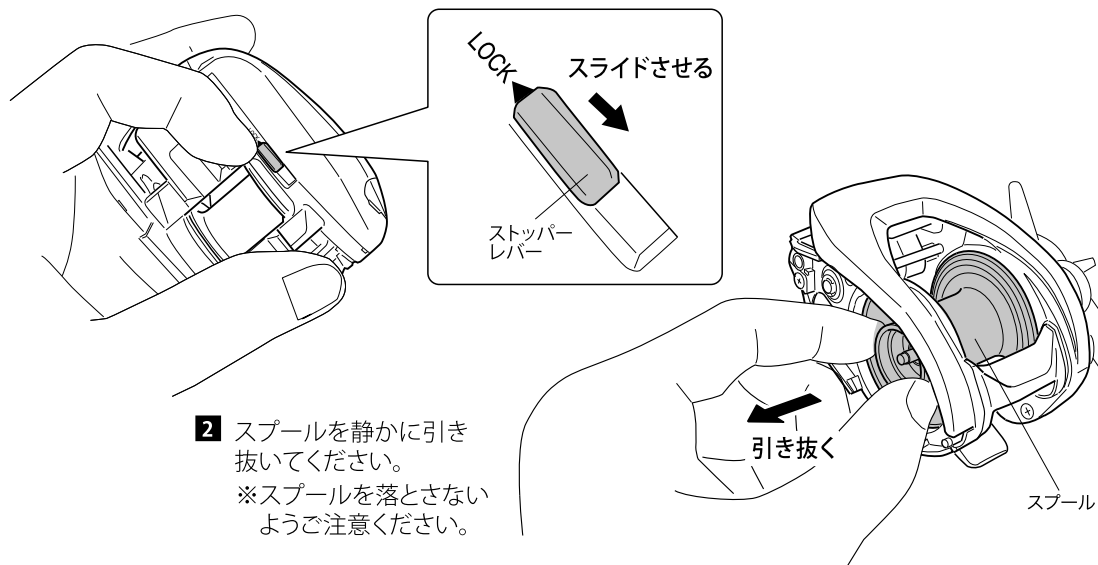
※標準巻糸量は標準糸:UVFソルティガデュラセンサー×8+Si²にリーダー1m程度を目安としています。

※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

各部の名称と機能

●スプールの交換方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

- 1** サイドプレート下のストッパーレバーをスライドし、サイドプレートを外します。
※スプールを指で押さえながら外してください。押さえないと、サイドプレートと一緒にスプールが外れてしまいます。



- 2** スプールを静かに引き抜いてください。
※スプールを落とさないようご注意ください。

※注意

パーミング側サイトプレートユニットを取り付けの際は、開閉レバーを「カチッ」となるまで確実に戻してロックしたことを確認してからご使用ください。
開閉レバーが締まっていないまま使用すると、場合によってはサイドプレートユニットおよびスプールの脱落のおそれがあります。ご注意ください。

はじめに

●ご使用前に

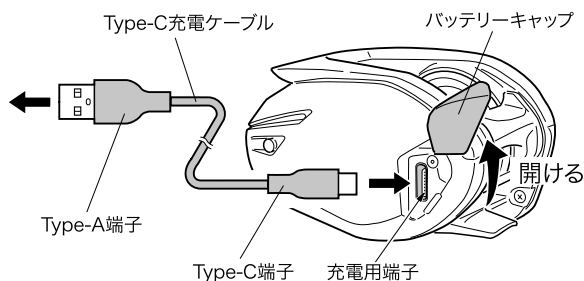
本製品は、リチウムバッテリーを内蔵しています。ご購入後は充電を行ってからご使用ください。

●充電方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

リール本体の充電用端子に付属のType-C充電ケーブルを接続し、充電を行います。

1. バッテリーキャップを開けます。
2. USBコネクタ(Type-A端子)をUSB電源(別売り)やパーソナルコンピュータの給電可能なUSBポートに接続してください。
3. USBコネクタ(Type-C端子)をリール本体の充電用端子へ接続します。
4. 充電が開始されると、リール本体のLEDライト(グリーン)が点灯します。
5. 充電が完了すると、LEDライトが消灯します。(約90分で満充電)
6. 充電終了後、Type-C充電ケーブルをUSBポートおよびリール本体から引き抜きます。バッテリーキャップを閉じてお使いください。

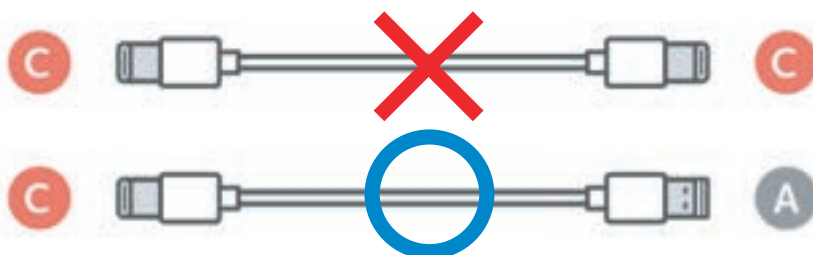
※クラッチが下に押し込まれた状態(クラッチが切れた状態)での充電はおやめください。



※本製品は、USB-PD (USB Power Delivery) 規格には対応しておりません。急速充電対応のアクセサリは使用しないでください。

※市販されている一部のUSBケーブルでご使用ができないケーブルがあります。予めご了承ください。

※端子規格がType-C端子 Type-C端子の充電コードでは充電できません。

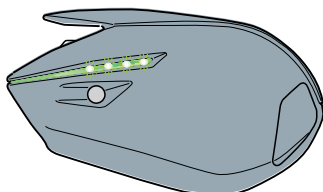


電源について

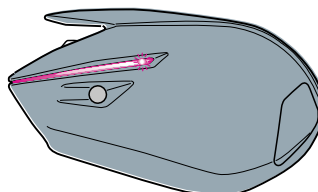
●バッテリー残量について

スリープ時(電源OFF)にリール本体のコントロールスイッチを押すと、LEDライト(グリーン)が点灯します。バッテリー残量は、LEDライトの点灯数で確認できます。

残量:100%~10%以上
グリーンが段階的に点灯



残量:10%未満
レッドが1つ点灯



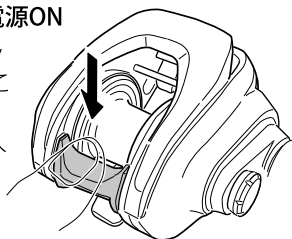
※バッテリー残量は目安であり、周辺環境(気温、湿度等)や使用状況(キャスト回数等)により、急激に変化する場合があります。

●電源ONについて

リール本体電源をONにする方法は、2つ(クラッチ操作とコントロールスイッチ操作)あります。

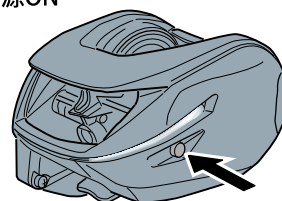
●クラッチ操作での電源ON

リール本体のクラッチを下に押し込むことで、クラッチが切れ、同時に電源が入ります。



●コントロールスイッチでの電源ON

パーミング側サイドプレートのLED下部に設置されたコントロールスイッチを2秒長押し、コントロールスイッチをはなすと電源が入ります。



●電源OFFについて

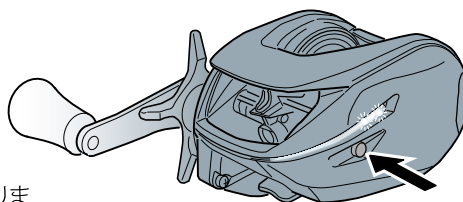
リール本体電源をOFFにする方法は、2つ(コントロールスイッチ操作と自動スリープ)あります。

●コントロールスイッチ長押し

電源ONの状態ではリール本体のコントロールスイッチを5秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイト)が2個点灯したことを確認し、コントロールスイッチをはなします。リールがスリープ(電源OFF)になります。

●自動スリープ

一定時間リール本体の操作が無い場合、自動で電源OFFになります。DAIWAコネクティングシステム内のSetting画面にて、自動スリープ設定を変更できます。



機能設定の基本操作 「1.ブレーキ設定方法」

●ブレーキ力設定を行う前に

●はじめに“ゼロアジャスター”を調整し、“スプールガタゼロ”設定を実施してください。

“ゼロアジャスター”は、釣りを開始する前に“ゼロ設定”に調整することで、釣りの間に誤作動が起こることなく、快適に釣りを楽しんでいただくための機構です。“スプールガタゼロ”設定とは、スプールを押さないギリギリの設定であり、微細なガタつき(0.2mm程度)を残した状態のことです。

※本製品は、出荷段階でスプールポジションを“ゼロ”設定にセットしています。

※クラッチOFF(クラッチレバーを下に押し込んだ)状態で確認すると、微細なガタを把握しやすくなります。

※“ゼロアジャスター”は、時計回りで締め、反時計回りで緩めます。

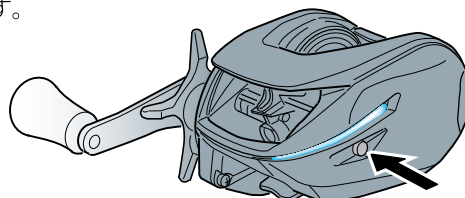
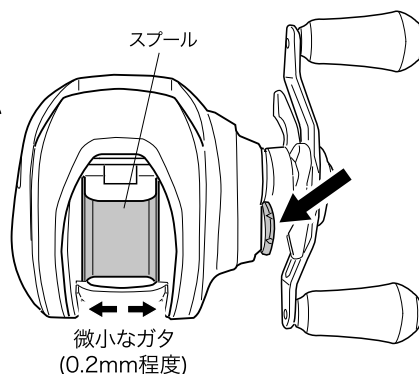
●インテリジェントマグフォースにより、全てのルアーに対応したブレーキ制御をコントロールスイッチで制御することが可能です。

本製品のブレーキ力設定方法は、リール本体のコントロールスイッチ操作にて調整を行います。ブレーキ力の強弱は、8段階から選択・設定ができます。LEDライト点灯の数が多いほどブレーキ力が大きくなり、点滅およびLEDライト点灯数が少ないほどブレーキ力も小さくなります。

“スプールガタゼロ”の設定で、ブレーキ力設定値に委ねてご使用ください。慣れるまでは、ブレーキ力設定値を最大から段階的に落としてご使用することをおすすめします。

※従来のブレーキ力調整用マグダイヤルは非搭載です。

※現在、アプリ上からのブレーキ力設定操作はできません。



●ブレーキ力設定方法

1.リール本体の電源をONにします。

2.リール本体のコントロールスイッチを短押しします。

LEDライトが点灯し、現在設定されているブレーキ力が表示されます。

※ブレーキモード毎にLEDライトの色が異なります。

3.さらにコントロールスイッチ短押しを繰り返し、任意のブレーキ力を選択・設定します。

4.従来のマグダイヤル設定と同様に、慣れに従って徐々にブレーキ力設定値を下げていきます。バックラッシュ気味になる1つ手前のブレーキ力設定値が、その時の条件に合った最適なセッティングです。

5.ブレーキ力を半分以下(LEDライトが2個点灯:ブレーキ力4)のゾーンまで下げていく場合は、必ず1段階ずつ下げてください。

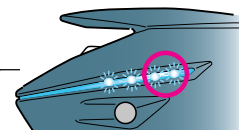
※ブレーキ力設定値が小さいと、ブレーキ力はかなり微小です。いきなりブレーキ力を下げすぎると、バックラッシュが発生しますのでご注意ください。

※サミングを併用するとさらにブレーキ力設定値を下げる事が可能です。

※ブレーキ力設定値が最大でもブレーキ力が足りないと感じた時は、ゼロアジャスターを少しだけ締めてご使用いただくと、補助ブレーキの役割を果たします。

※ライン素材や糸径、比重(重さ)によって必要なブレーキ力が異なります。

※クラッチON/OFF状態によっては、ブレーキ力設定の遷移が変わります。異常ではありません。



⚠注意

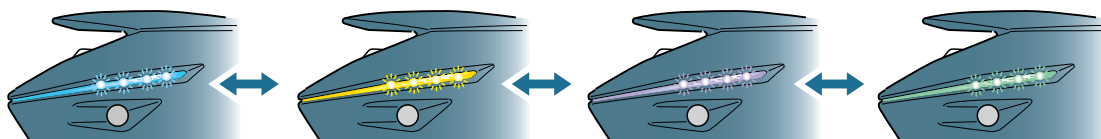
- ・ゼロアジャスターを“ゼロ”より締めて使うと、本製品が有している“高レスポンスなスプール性能”を損ね、飛距離ダウンが発生するおそれがあります。また、さらに締め込みすぎた状態で使い続けると、中のシャフトが焼きつきを起こし、「キーン」という異音が発生するおそれがあります。締めすぎにはご注意ください。
- ・一方で、“スプールガタゼロ”状態より大きく緩んだ状態で使用すると、キャスト時のスプールの振れが大きくなるために、リール本来のMAGFORCEブレーキ性能が不安定となり、ノイズ発生のみならず、飛距離ダウンやバックラッシュ発生の原因となります。さらに緩めすぎた状態で使用すると、スプールとフレームが干渉し、傷を発生させてしまうおそれがあります。緩めすぎにはご注意ください。
- ・本製品の持つ性能をフルに発揮させるためにも、“スプールガタゼロ”設定でご使用いただくことを強くお勧めします。緩めすぎや締めすぎた状態での使用はおすすめできません。

機能設定の基本操作 「1.ブレーキ設定方法」

●ブレーキモード設定方法

コントロールスイッチ操作によりブレーキ特性を変更することができます。

1. リール本体の電源をONにします。
2. リール本体のコントロールスイッチを2秒以上(5秒未満)長押しします。
3. LEDライト(ホワイト)が1個点灯したことを確認し、コントロールスイッチから指をはなします。現在設定されているブレーキモードのカラーがLEDライトに表示されます。ブレーキモードが変更可能な状態となります。
4. この状態の時に、コントロールスイッチ短押しを繰り返すとブレーキモードの変更ができます。
5. 選択したい任意のブレーキモードで、コントロールスイッチを押すのをやめると、3秒間ほどLEDライトが点灯します。LEDライトが消灯するとブレーキモード変更が完了します。



- ※クラッチON/OFF状態によっては、ブレーキ力設定の遷移が変わります。異常ではありません。
- ※工場出荷状態では、スタンダードモードのみ使用可能です。他のブレーキモードは選択できません。
- ※本製品をDAIWAアプリに製品登録することで、新たなブレーキモードがダウンロードでき、選択可能となります。本製品の性能を引き出すためにも、DAIWAアプリへの製品登録を強くおすすめします。

機能設定の基本操作 「1.ブレーキ設定方法」

●PEラインキャストのコツについて

はじめに

本製品は、PEラインを、よりトラブルレスかつ遠くへキャストをする専用ブレーキモードを開発しましたが、PEラインの特性上、全くトラブルが無くなる訳ではありません。使いこなすには、「慣れ」という部分が必要不可欠です。予めご了承ください。

1.最初からフルキャストせずに、徐々に距離を伸ばしていくように心掛ける。

その日の釣り始めの状態では、スプールに巻かれたPEライン同士がくっついていたり、巻糸面での上糸と下糸のライン同士での食い込み症状などが発生していたりする場合があります。その状態でいきなりフルキャストをすると、ライン放出の妨げになり、最悪の場合はラインが高切れして、ルアーをロストすることもあります。PEラインが食い込んだり、くっついたりした状態をほぐし、スプールにPEラインがよく馴染んだ状態にした後、徐々にキャスト時の入力を強くすることをおすすめします。

2.ロッドの弾力を利用して“乗せる”キャストを心掛ける。

“コンパクトなスイングでピュッと振り切る”ようなキャストはトラブルの元です。スイングの初速～中盤～終盤までのスピード差を極力少なくする意識でキャストしてください。

3.ジャークやシャクリ等で、PEラインがフケ気味に巻かれる場合は、テンションを掛け直す。

糸フケが多く出ている状態で使い続けると、巻糸面での上糸と下糸のライン同士での食い込みが発生しやすくなります。ラインが食い込むと、次のキャスト時のトラブルにつながります。

4.キャストングの中で、ゼロアジャスターを緩めすぎない。

緩めすぎると、トラブルが増えます。緩め過ぎは逆効果です。

※ゼロアジャスターの設定については、「●ブレーキ力設定を行う前に」の項目をご参照ください。

5.リーダーとの結束部が、ロッドのガイドから外側に出るようにする。

リーダーが長いと、キャスト時に結束部がガイドに絡み、高切れの原因となります。リーダーを長く取らざるを得ない場合は、ノット部を極力小さくすることをおすすめします。

機能設定の基本操作「2.初期化および強制再起動」

●初期化について

リール本体に保存されている釣行ログデータや設定情報含むすべてのデータが削除され、工場出荷時の設定になります。

事前にDAWIAコネクティングシステムでリール本体に保存された釣行ログデータを抽出しておくことをおすすめします。

※初期化を行った場合は再ペアリングを行ってください。

■初期化方法:

1.リール本体の電源をOFFにします。

リール本体のコントロールスイッチを5秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイ)が2個点灯したらコントロールスイッチから指をはなします。

2.次に、リール本体をペアリングモードにします。

リール本体のコントロールスイッチを5秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイ)が2個点灯したらコントロールスイッチから指をはなします。リール本体のLEDライト(ブルー)が明滅したことを確認してください。

※ペアリングモードを終了したい場合は、クラッチ操作(クラッチレバーを下に押し込む)を行います。クラッチ操作後、LEDライト(ブルー)が消灯します。

3.初期化を行います。

リール本体のコントロールスイッチを**10秒以上(15秒未満)** (※注意)長押しし、LEDライト(ホワイ)が2個が点灯したらコントロールスイッチから指をはなします。リール本体のLEDライト(ホワイ)が消灯します。

15秒程度で、初期化が完了します。その後は、クラッチを押し込んだり、コントロールスイッチを押すと電源ON状態が確認できます。

※初期化後は、リール本体は電源ON状態となります。

(※注意) →リール本体ファームウェア **アップデート後**の設定条件となります。

アップデート前は、**5秒以上(10秒未満)**となります。ご注意ください。

●強制再起動について

何かしらの不具合が発生し、リール本体が反応しない場合(電源のON/OFFができない等)、強制的に再起動することができます。

強制再起動を行うと、場合によってはリール本体の内部データが破損するおそれがあるため、むやみに行わないよう、ご注意ください。

事前にDAWIAコネクティングシステムでリール本体に保存された釣行ログデータを抽出しておくことをおすすめします。

■強制再起動方法:

1.リール本体の電源をOFFにします。

リール本体のコントロールスイッチを5秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイ)が2個点灯したらコントロールスイッチから指をはなします。

2.リール本体の強制再起動を行います。

リール本体のコントロールスイッチを40秒以上長押しし、コントロールスイッチから指をはなします。この間、リール本体のLEDライトは消灯した状態が続きます。

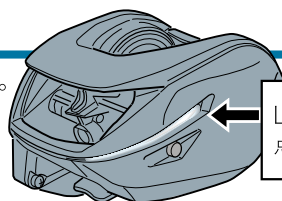
3.リール本体からブザー音が「ピッ!」と鳴り、強制再起動が完了したことを報知します。

リール本体は、電源OFFの状態となります。クラッチ操作やコントロールスイッチにて電源ONにして使用を開始してください。

機能設定の基本操作 「3.LEDライト点灯状態の主な表示について」

●LEDライト点灯表示

主に、3つのパターンで表示します。



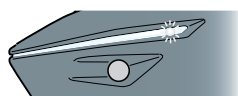
LEDライト 点灯状態			
	点灯	点滅/明滅	消灯

●LEDライトのカラーと点灯数表示について

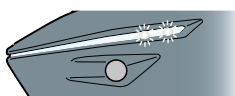
本製品に搭載したLEDライトは、カラー別、点滅、点灯数によってさまざまな状態を報知する、便利な機能です。

●LEDライト(ホワイト)点灯

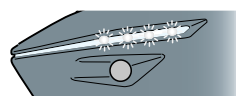
LEDライト(ホワイト)は、起動時およびスリープ時の演出、インジケータ報知です。
※クラッチON/OFF状態によっては、表示内容や遷移が異なります。



ホワイト:1灯点灯



ホワイト:2灯点灯



ホワイト:4灯点灯

■電源OFF時

- LEDライト(ホワイト)1灯点灯:コントロールスイッチ操作を2秒以上(5秒未満)で電源ONになり、本製品が起動します。
- LEDライト(ホワイト)2灯点灯:コントロールスイッチ操作を5秒以上(10秒未満)でペアリングモードになり、本製品が電波を発する状態になります。

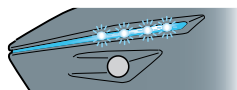
■電源ON時

- LEDライト(ホワイト)1灯点灯:コントロールスイッチ操作を2秒以上(5秒未満)で任意のブレーキモードが選択できます。
- LEDライト(ホワイト)2灯点灯:コントロールスイッチ操作を5秒以上(10秒未満)でスリープモードになります。

●LEDライト(ブルー)点灯

LEDライト(ブルー)は、スマートフォンと本製品が通信している際に表示される報知です。

※本製品を使用中、Bluetooth® 接続された状態で釣行ログデータを抽出している際に点灯します。異常ではありません。



●LEDライト(レッド)点灯

LEDライト(レッド)はアラート報知です。全部で4つの異常状態を表示します。
その際、同時にブザー音でも通知されます。



- LEDライト(レッド)1個点灯:バッテリー残量が10%未満に低下していることを表しています。充電を行うことでLEDライト(グリーン)点灯へ変化します。
- LEDライト(レッド)2個点灯:リール本体の温度異常発生を表しています。本製品が熱を持った場合には冷やしていただき、冷えすぎた場合は動作適温環境まで温まることで、解除されます。
- LEDライト(レッド)3個点灯:リール本体に保存している釣行ログデータが容量の上限に達している状態を表しています。スマートフォンと本製品を Bluetooth® 接続し、釣行ログデータを抽出することで、解除されます。
- LEDライト(レッド)4個点灯:リール内部で何らかのエラーが発生している状態を表しています。4個点灯時は、直ちに使用を停止し、(株)スポーツライフプラネットへ修理にお出しください。

機能設定の基本操作 「4.ブザー音・状態遷移一覧について」

●ブザー音について

下記の条件においてブザー音によって報知します。

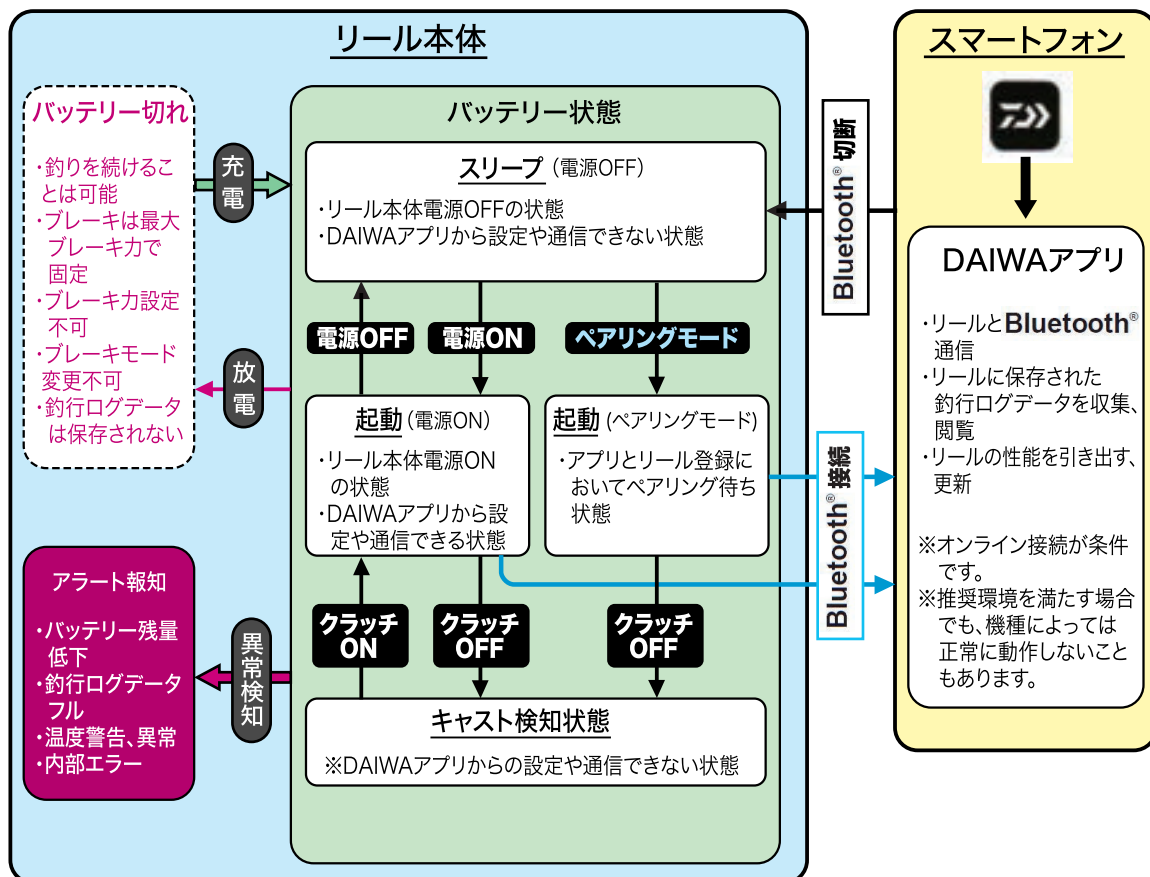
- ・リール本体起動(電源ON)
- ・最長飛距離更新
- ・ブレーキモード選択
- ・ブレーキ力選択
- ・リール本体終了(電源OFF)
- ・アラート報知
- ・エラー報知

※最長飛距離更新は、ライン(糸)設定を再設定するとリセットされます。

DAIWAアプリ→DAIWAコネクティングシステム→Setting→ライン(糸)設定から行います。

※ブザー音のON/OFFは、DAIWAアプリ→DAIWAコネクティングシステム→Setting→リール設定→リール本体設定で設定可能です。

●電源ON/OFFにおける状態遷移一覧

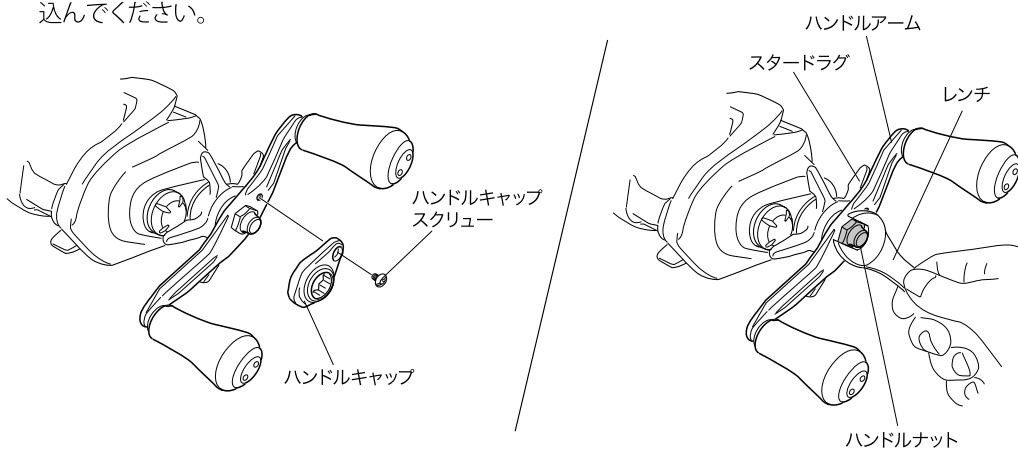


機能設定の基本操作 「5.ハンドルアーム交換方法」

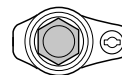
●ハンドルアーム交換方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

⚠ ハンドルナットは左ハンドルの場合、逆ネジとなっておりますので特にご注意ください。

- 1 市販のマイナスドライバーで反時計回りにハンドルキャップスクリューを緩め、ハンドルキャップを外します。
- 2 スタードラッグを締め込み、市販のレンチを使い、反時計回りでハンドルナットを緩めて外します。
(⚠ 左ハンドルは時計回りでハンドルナットを緩めます)
- 3 ハンドルアームを外し、ハンドル交換を行ってください。レンチを使い、ハンドルナットを取り付けます。強めに時計回りに回して締め込んでください。(⚠ 左ハンドルは反時計回りに回して締め込んでください)
- 4 ハンドルキャップを取り付け、市販のマイナスドライバーでハンドルキャップスクリューを時計回りで締め込んでください。



※ハンドルナットはハンドルキャップの溝に合うようにきつめに締めてください。



機能設定の基本操作 「6.ハンドルノブ交換方法」

●ハンドルノブ交換方法 (※Sサイズノブと互換性があります。)

IM Z LIMITBREAKER TW HD-C [4CRBB仕様 (2BB×2) パワーラウンドEVAノブの場合]

1 工具を使用し、キャップを外します。

⚠ キャップは逆ネジになっております。ご注意ください。

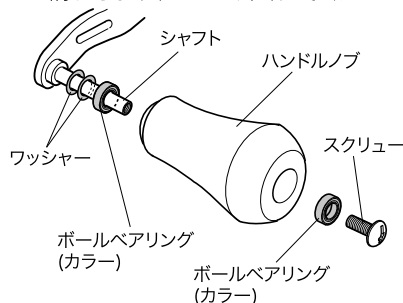


3 キャップ部を工具で取り付け完成です。

⚠ キャップは逆ネジになっております。ご注意ください。



2 図のように、組み込んでください。スクリューはプラスドライバーを使ってしっかりと締め込みます。スクリュー側のボールベアリング(カラー)がノブに納まるよう、しっかり入れてください。

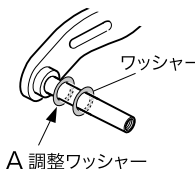


※図中の工具は別売です。釣具店にご用命ください。

(部品コード:199585
部品名:ドライバー/ミリオネアCVハンドル用)

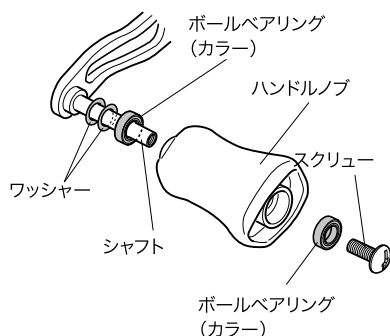
※RCSベイトキャスティングリール純正オプションハンドルノブ(Sサイズ)には、図中の工具が入っております。

※ハンドルノブのガタが大きい場合は、ダイワ純正RCSオプションハンドルノブに付属しているワッシャーを図Aの位置に追加してください。(追加する場合、ワッシャーを入れすぎるとハンドルノブが回転しなくなるのでご注意ください。)

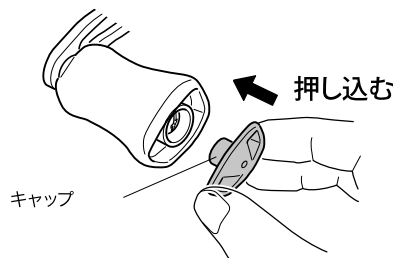


IM Z TW 200-C [4CRBB仕様 (2BB×2) ハイグリップIシェイブパワーラージノブの場合]

1 図のように、シャフトにワッシャー、ボールベアリング(カラー)を入れ、ノブを挿入し、残りのボールベアリング(カラー)を入れます。スクリューを市販のプラスドライバーを使ってしっかりと締め込みます。2つ目のボールベアリング(カラー)がノブに納まるよう、しっかり入れてください。

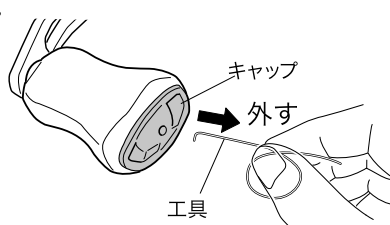


2 図のように、キャップを押し込んでください。



(キャップを外すときは)『I型ノブ』の場合

ダイワ純正RCSオプションハンドルノブに同梱の工具を使用しキャップの穴に引っかけて外します。



『パーツ情報 確認方法』

パーツ情報については
【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム

検索

リールの登録・ペアリングについて

●ペアリング方法

本製品の性能を最大限に活かし、今までにないフィッシングライフを楽しむために、スマートフォンにDAIWAアプリをインストールし、リール登録を行ってください。

■ペアリング方法：

- 1.スマートフォンの **Bluetooth®** 設定およびDAIWAアプリの **Bluetooth®** 設定がONになっていることを確認します。
(Androidの場合は位置情報もONになっていることを要求される場合があります。)
- 2.DAIWAアプリを起動し、TOP画面から「DAIWAコネクティングシステム」をタップします。
- 3.会員登録したアカウントでログインします。
- 4.アプリの製品登録・初期設置画面の「製品登録する」をタップします。
- 5.リール本体の電源をOFFにします。
- 6.リール本体のコントロールスイッチを 5 秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイ)が2個点灯したら、コントロールスイッチをはなします。
- 7.リールのLEDライト(ブルー)が明滅します。(ペアリングモード)
- 8.リールをスマートフォンの近くに置き、「リールをスキャンする」をタップします。
- 9.スキャンしたリールを選択し、ペアリングを行います。ペアリングが完了するとLEDライト(ブルー)が消灯します。
- 10.リールの登録名入力、初期設定を行います。
- 11.Setting画面の登録したリールの **Bluetooth®** マークが青色に表示されていることを確認します。
※7.の途中でリール本体のペアリングモードを解除する場合は、クラッチOFF→ONを行ってください。LEDライト(ブルー)が消灯します。
※2台目以降の登録ペアリングは、DAIWAアプリのSetting画面から行います。

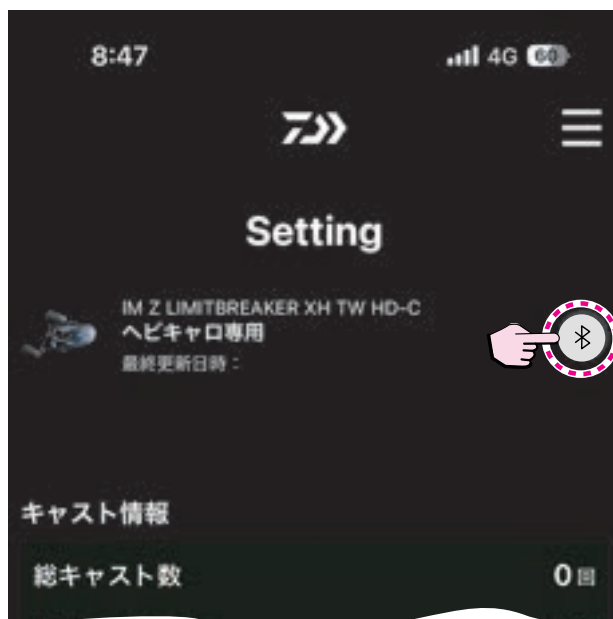
●ペアリング後のBluetooth®接続について

■接続方法：

- 1.リール本体の電源をONにします。
- 2.DAIWAアプリTOP画面⇒「DAIWAコネクティングシステム」⇒「ログイン」⇒「Setting」を選択します。
- 3.DAIWAアプリに登録されたリールの **Bluetooth®** マークが青色になります。

※接続できない場合

- ・スマートフォンの **Bluetooth®** 設定がONになっていることを確認してください。
- ・図のように、Setting画面の **Bluetooth®** マークをタップして接続してください。
- ・それでも接続できない場合は、再ペアリングを行ってください。



リールの登録・ペアリングについて

●再ペアリング

何らかの理由でDAIWAアプリと **Bluetooth**® 接続ができない場合、再ペアリングを行う必要があります。

※再ペアリングを行う場合、スマートフォン **Bluetooth**® 設定に登録された「IMZ LB TW HD-C」を解除(もしくは削除)する必要があります。

■再ペアリング方法:

- 1.スマートフォンの「設定」をタップ、「**Bluetooth**®」(もしくは接続済みのデバイス)を選択し、登録済のデバイス『IMZ LB TW HD-C』を解除(もしくは削除)します。



- 2.DAIWAアプリ⇒「DAIWAコネクティングシステム」⇒「ログイン」⇒「Setting」を選択し『製品登録する』をタップします。
3. [●ペアリング方法](#) の手順に沿って、再ペアリングを行います。
- 4.Setting画面に登録されたリールの **Bluetooth**® マークが青色になれば再ペアリングが完了となります。

※リール本体を『ペアリングモード』にした場合、再ペアリングが必要となりますのでご注意ください。

電子保証について

●電子保証について

本製品をDAIWAアプリに登録すると、電子保証が付与されます。DAIWAコネクティングシステム⇒Setting⇒リール設定⇒リール登録情報に登録年月日が表示され、保証の説明が表示されます。電子保証を発行するためにも、DAIWAアプリへの登録を強くおすすめします。

※リールの初回登録時のみに電子保証が付与されます。MyDAIWAを退会すると、電子保証も削除されますのでご注意ください。

保証期間

- ・製品登録年月日から1年間
- ・総飛距離300km以内
- 上記、いずれかの条件に到達するまで

●電子保証に関する保証修理規定

- 正常な使用状態(取扱説明書に従った使用状態)で故障した場合には、電装部のみ、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内および条件内に故障して無償修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店に製品と“電子保証が有効”のスマートフォン画面をご提示の上、お申しつけください。
- 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - ①電子保証が確認できない場合。
 - ②使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ③お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ④火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - ⑤釣具以外での使用による故障および損傷。
 - ⑥不具合の原因が本製品以外(経時変化または外的要因)により発生した場合。
(塗装面、メッキ面、その他の加工処理面の自然褪色および腐食、剥離等)
 - ⑦耐用または仕様基準を超えた使用。(水没、高温の車内に放置等)
 - ⑧一般的に機能上影響のない感覚的現象(音、ガタ、振動等)
 - ⑨付属品、消耗品の交換。およびオーバーホール等の点検整備。
 - ⑩ご使用後のキズ、変化、汚れ、および保管上の不備による故障または損傷。
 - ⑪バッテリー性能が80%以上を満たしている時
- この電子保証は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 電子保証は再発行できません。
DAIWAアプリ内の製品登録情報やDAIWAアプリのアカウント登録等、誤って削除しないようにしてください。
- 修理以外に要する梱包代・送料(往復共に)お客様の負担となります。

●電子保証について保証対象外となる場合

電子保証について以下の場合には保証対象外となります

- ①ドラッグワッシャー、油脂類(グリス、オイル)の交換補填。
- ②充電ケーブルの破損、紛失
- ③落下や衝撃による故障
- ④仕様基準を超えた使用による故障(水没、高温の車内に放置等)
- ⑤お手入れの不備による故障

●修理ご依頼時、または製品返却時のお願い

販売店様に修理をご依頼する時は以下の点についてご協力ください。

- ①不具合が発生した状況と不具合現象(再現できる状態が望ましい)をできるだけ詳しくお知らせください。
- ②リール本体に保存された釣行ログデータをご自身のアカウントへ抽出しておくことをおすすめします。場合によっては釣行ログデータが消去され、復元することができなくなります。予めご了承ください。
- ③リール本体を充電しても電源が付かない、Bluetooth®接続などができない症状が発生した場合は、釣行ログデータは復元できません。予めご了承ください。
- ④修理完了後、スマートフォンと接続するためには“再ペアリング”が必要になる場合があります。予めご了承ください

仕様一覧

●製品仕様

製品名	IM Z TW200-C	IM Z LIMITBREAKER TW HD-C
アイテム名	200H/200HL/200XH/200XHL	XH/XHL
標準自重	245g	250g
巻き取り長さ(cm/ハンドル1回転)	87cm/100cm	100cm
ギア比	7.3/8.4	8.4
標準巻糸量	ナイロン:18lb.-100m/PE#2-200m	ナイロン:20lb.-100m/PE#4-100m
ハンドルアーム長	90mm	95mm
ベアリング(ボール/ローラー)	10/1	12/1
最大ドラグ力	7kg	7kg
スプール寸法(径/幅)	φ38mm/24mm	φ38mm/24mm
メーカー希望本体価格	113,600円	125,000円
JANコード	H:4550133357817* HL:4550133357824* XH:4550133357831* XHL:4550133357848*	XH:4550133247194* XHL:4550133247200*
バッテリー容量	410mAh	
バッテリー充電時間	約90分(付属コードを使用した場合)※	
連続投擲数	約700回 ※	
使用推奨環境	使用時推奨気温:0~40℃ 充電時推奨気温:15~30℃ ※	
搭載ブレーキ	INTELLIGENT MAGFORCE	
付属品	簡易取扱説明書、製品特性上の注意、充電ケーブル、クロロブレン製リールケース	
生産国	日本	

■本製品は日本国内専用です。海外での使用は動作保証、スマホアプリ連動および修理受付の対象外となります。

■巻き取り長さはハンドル1回転あたりの長さです。

■価格はメーカー希望本体価格(税抜)です。

■巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

※数値は弊社における規格値であり、保証値ではありません。

●無線通信仕様

通信方式	Bluetooth(R) Low Energy 5.0
最大通信距離	約10m
使用周波数帯域	2.4GHz帯

■推奨環境を満たす場合でも機種によっては正常に動作しないことがあります。予めご了承ください。

■ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。

グローブライド株式会社は使用承諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

故障かな?困ったときは

項目	症状	考えられる原因	処置
電源	電源が入らない。	充電が切れている。	充電してください。
ペアリング	リール登録できない。 ペアリングできない。	スマホ本体のBluetooth®設定がOFFになっている。 Androidの場合、スマホ本体の位置情報設定、位置情報サービスがOFFになっている。	スマホ本体のBluetooth®設定、スマホの設定→DAIWAアプリのBluetooth設定を確認し、ONに設定してください。 スマホ本体の位置情報設定、位置情報サービスを確認し、ONに設定してください。
コントロールスイッチ	コントロールスイッチを押しても、何も反応しない。	充電が切れている。 リールのソフトウェアがフリーズしている。	充電してください。 強制再起動を行ってください。(本取扱説明書のP.21をご参照ください。)
LED	コントロールスイッチを押しても、クラッチを切ってもLEDライトが光らない。 釣行後、DAIWAアプリと接続すると、LEDライト青色が長時間光ったまま、消えない。	充電が切れている。 リールに溜まったログデータをDAIWAアプリに送信している。	充電してください。 しばらくお待ちください。
音	音が鳴らない。	充電が切れている。 電源が入ってない。 リールの動作音設定がOFFになっている。	充電してください。 電源を入れてください。 DAIWAアプリのDAIWA接続システム→リールのSetting→リール設定の動作音をONに設定してください。
充電	充電できない。 充電されているかわからない。 充電の減りが早い。	付属の充電ケーブルを使用していない。 充電ケーブルがきちんと挿さっていない。 ----- 使用環境温度(高温や低温)によってバッテリー残量が低下しやすくなる。 リールの自動スリープ設定がOFFになっている。	付属の充電ケーブルを使用してください。 "カチッ"と鳴るまでしっかり挿し込んでください。 充電中はLEDライト(グリーン)が点灯し、満充電になると消灯します。コントロールスイッチを1回押すと、LEDライト(グリーン)が点灯し、バッテリー残量が確認できます。 ----- DAIWAアプリのDAIWA接続システム→リールのSetting→リール設定の自動スリープをOFF以外に設定してください。
			次項へつづく

故障かな?困ったときは

項目	症状	考えられる原因	処置
ブレーキモード	ブレーキモードが1種類しか選択できない。(他のブレーキモードを設定できない。)	DAIWAアプリのDAIWAコネクティングシステムにリールを登録していない。	購入時点ではブレーキモードは1種類(スタンダード)しか使用できません。DAIWAアプリのDAIWAコネクティングシステムにリールを登録すると4種類のブレーキモードが使用できます。リールを登録してご使用ください。
	ブレーキが重く、ブレーキ制御が効いていない気がする。	充電が切れている。	充電してください。
釣行ログデータ	釣行ログデータがDAIWAアプリに表示されない。	DAIWAアプリのDAIWAコネクティングシステムにリールを登録していない。	リールを登録してご使用ください。
		DAIWAアプリとBluetooth®接続していない。	DAIWAアプリとBluetooth®接続し、リール内のデータを抽出してください。(本取扱説明書のP.26をご参照ください。)

※上記の確認を行っても問題が解決しない場合は、「ヘルプガイド・よくある質問」や本取扱説明書をお読みください。それでも解決しない場合は、お客様センターにお問合せください。
故障が生じ、修理が必要な場合は、お手数ですが、お買い上げになった販売店にお預けください。

アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL **0120-506-204**

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16